

親子聖書日課

NO.1688 2021.1/31-2/6

名前

[日]主のみ前で悔い改めた時から、私達の祈りは全て聞かれています。祈っても聞かれないと疑ってはいけません。主は私達を愛して、み言葉の約束を実現して下さいますから、信じて祈り続けましょう。み旨ならば、祈りは必ず実現します。

[月]ダニエルに示された主からの幻は、実現します。しばらくペルシア時代が続き、その後、ギリシアのアレキサンダー大王の世界制覇の時代が来ます。それは戦いにつぐ戦い、ほしいままの悪行の世界ですが、全ては神に見通されています。

[火]どんな力をもった王でも「彼の終わりの時が来て、助ける者はない」のです。アッシリアはバビロンに、そのバビロンもペルシアに、ペルシアもやがてローマに滅ぼされます。神の預言を疎かにしてはいけません。歴史を導く主を敬いましょう。

[水]終末に向かって、どう生きたらよいか、考えることが大切です。「かつてなかったほどの苦難が」続くからです。主を待ち望んで耐え忍ぶ者は救われ、「とこしえの星と輝く」者になります。主を信頼し、御手に委ねて、常に忠実に歩むことです。

[木]ホセアはイザヤと同じ頃、北イスラエルで預言しました。不倫の妻の中に、民の姿を見、主の怒りと愛を語ります。不倫相手の間に生まれた子を受け入れるのは難しいでしょう。しかし、主は「受け入れよ」どんな人も愛せよ、言われました。

[金]民は夫(主)を捨てて、恋人バアル(偶像)を追い求めます。食料、衣服をくれると思ったからです。霊的なことよりも物質を求めました。そんな彼女らを「荒野に導き、心に語りかけ」初めの愛を思い出させるのです。主の愛に触れましょう。

[土]ホセアは「愛せよ」との主の言葉に、夫を捨て、奴隷となった妻を買戻しました。私達も花婿キリストを捨て、罪の奴隷になってはいませんか。主は十字架の血潮で私達を買い取って下さったので、二度と罪の奴隷とってはいけません。



	聖書	問題	答え
日	ダニエル 10:1-11:1	ダニエルは三週間にわたる何をしましたか。	
月	11:2-20	勇敢な王が起こり、大いに支配し、どのように行動しましたか。	
火	11:21-45	ついに彼の終わりの時が来るが、どんな者はいませんか。	
水	12:1-13	逆らう者はだれも悟らないが、どんな人々は悟りますか。	
木	ホセア 1:1-8	淫行による子らをどうすべきですか。	
金	2:1-25	主は彼女をいざなって荒れ野に導き、その心をどうしましたか。	
土	3:1-5	夫に愛されていながら、姦淫する女をどうすべきですか。	
感想と祈りの課題			